

● 作り方の手順

①

荒いやすりで
「削る」



②

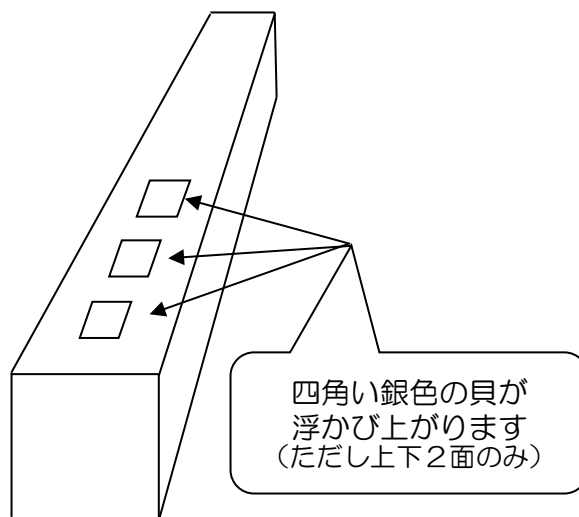
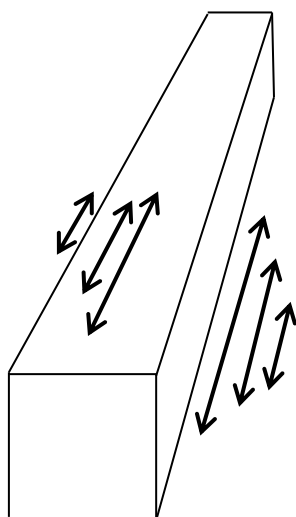
細かいやすりで
「磨く」



① 「削る」用のやすりで表面をこすって削ります。

② 貝や殻が出てきたら、「磨く」やすりで表面を磨きます。

※ 洗面器に水を張って、やすりの削りくずを洗い落としながら削っていくと効果的です。



● 注意点（安全に作るために）

① 削りすぎると漆がはがれて、元の木がでてきてしまいます。

② 完成すると、他の人の箸と区別できなくなりますので、注意してください。

● 作り方のポイント（より上手に作るために）

① 箸は四角形です。各面に沿って削ってください。

（角を削ってしまうと、元の木が出てきやすいです）

表面にアワビの貝殻（銀色、長方形）が3つ出てくる面が2つあります。

塗料は表面から順に「黒」「赤」「黄」「緑」に塗られています。

「緑」が浮かび上がったなら削り終えてください（元の木が出てきてしまいます）。

アワビの貝殻がきれいな長方形として、浮かび上がったなら、削り終えてください。

砥石や箸は洗面器の水にさらして、表面の削りカスを落としながら削ってください。

② 紙ヤスリは水につけながら磨いてください。

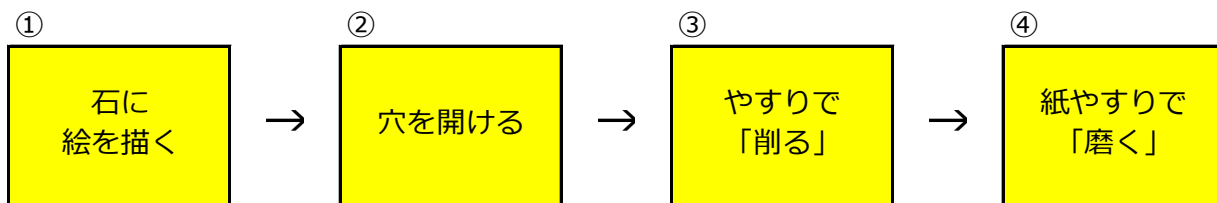
磨けば磨くほど、つやがでてきます。

● 指導者の方へ（指導する際、配慮していただきたい点）

「注意点」参照

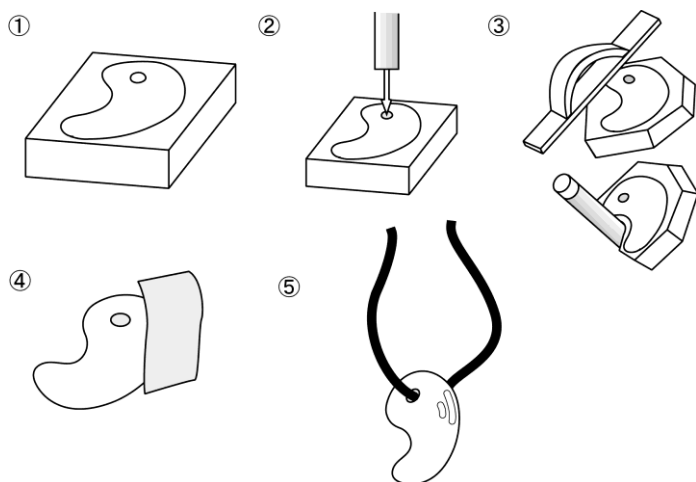
まが玉作り

● 作り方の手順



- ① 鉛筆で好きな形を描きます。穴を開ける場所も決めておきます。
- ② 糸を通すため、キリやドリルで穴を開けます。
- ③ やすりを使って、大まかな形になるまで削っていきます。洗面器に水をはって、時々やすりの目詰まりをおとしてください。
- ④ 形ができあがったら、紙やすりを使って磨いていきます。表面がツルツルになったら、ヒモをとおして完成です。

穴を開けるのに大変時間がかかります。事前にご連絡いただければ、



● 注意点（安全に作るために）

- ① 石は落とすと割れます。
- ② キリやドリルを使うときは、下に木の板を敷いてください。

● 作り方のポイント（より上手に作るために）

- ① 形はおおまかなものが望ましいです。
（複雑な形だとやすりで削りにくい場合があります）
- ② 穴は端に作ると、割れてしまう可能性があります。
- ③ 削る形にあわせてやすりの角度を変えたり、やすりを使い分けたりするのがポイントです。
- ④ 紙やすりも水につけながら磨いてください。磨けば磨くほど、つやがでてきます。

● 指導者の方へ（指導する際、配慮していただきたい点）

- ① 絵を修正したい場合は、表面をやすりで軽く削ってから改めて描いてください。
- ② キリは刃物です。振り回すなどの危険な行為について注意を払ってください。使い方が不慣れな方には、手伝いや声かけをお願いします。
- ③ 削りカスとして、大量の粉末が発生します。屋外で実施するか、下に新聞紙などを置いて削ってください。